

2021年4月14日（水）～16日（金）に韓国生物工学会（Korean Society of Biotechnology and Bioengineering; KSBB）の2021年春季大会（2021 KSBB Spring Meeting and International Symposium: Emerging Trends in Biotechnology after Pandemic）が開催された。会場は、RAMADA PLAZA JEJU(済州島)ということであったが、実際には、大部分がZoomを用いたwebにて開催された。日本生物工学会（The Society for Biotechnology, Japan; SBJ）からは、2020年度の学会賞受賞者である大政健史教授（功績賞・大阪大学）と清水一憲准教授（照井賞・名古屋大学）が招待され、講演を行った。

KSBB春季大会は、3日間の開催期間ではあるが、初日は評議委員会であり、実際には2日間にわたった大会であった。プレナリーレクチャーは、日本、米国、韓国、オランダの各国から2日間にわたって7件が開催され、その間に7つの会場にて並列にてシンポジウムが開催、ランチョンセミナー4件、さらに2日目の午後シンポジウムと並列でe-POSTERとして、10分野で合計400件のポスター発表が開催された。SBJからの講演は、[S4-7]Frontiers in Biomedical Studiesと題したシンポジウムにおいて、3日目の午後1時から3時の間の4件の発表のうち2件として講演がなされた。Webでのシンポジウムではあったが、進行はスムーズであり、日本にいながら、特に問題なく講演も質疑応答も行った。残念ながら、KSBB側との直接の顔合わせの交流行事や意見交換の場はなく、次回以降においてその機会が得られることを是非とも期待したい。

末筆ながら、丁寧にシンポジウムのお世話をしていただきましたJae-Hyung Jang先生（Yonsei University）、座長をお引き受けいただきましたHyungil Jung教授（Yonsei University）、KSBB事務局に厚く御礼申し上げます。また、本派遣の機会を頂きましたSBJ国際展開委員長の藤山和仁先生、諸手続きを行っていただいた事務局をはじめ、SBJの先生方に心より御礼申し上げます。

[S4-7] Frontiers in Biomedical Studies

● April 16, 2021, 13:20–15:00 (Ramada Ballroom 2)
Chair: Hyungil JUNG (Yonsei University)

S471 [SBJ Invited]
13:20-13:45
Biochemical Engineering in Animal Cell Technology
Takeshi OMASA
Department of Biotechnology Graduate School of Engineering, Osaka University, Osaka, JAPAN

S473 [SBJ Invited]
14:10-14:35
Development of *In Vitro* Human Skeletal Muscle Models Using Microfabricated Devices
Kazunori SHIMIZU
Department of Biomolecular Engineering, Graduate School of Engineering, Nagoya University, Nagoya, Japan

2021 KSBB Spring Meeting and International Symposium
web開催でのプログラムより抜き出し



KSBB春季大会. 現地の様子

◆関連記事：[【国際交流】韓国生物工学会（KSBB）大会参加報告](#)